

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		広聴活動費〔市民相談事務〕									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	2			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	秘書広報		課 市民相談			担当	課長名	五十嵐 孝雄			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3				
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書 (ページ)	127				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市内総人口(令和3年4月1日現在)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
生活上の悩みごと等について、主管課が不明な場合、一義的に市に相談できる。				年間相談受付件数/年間相談応募者数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
随時、職員が話を聴き、専門相談を案内する等の対応を行った。				年間相談受付件数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目標	②の目標値	%	100	100	100	100	100			
目標値設定の考え方 悩みを持っている市民に、漏れなく相談の機会を与える。											
活動指標		③の数値	件	321	250	219					
3 経費	事業費(実績)		円	196,557	272,151	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	196,557	272,151	0					
	特定財源(国・都・他)		円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3	0.2					
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	2,493,000	2,514,000	1,650,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	2,689,557	2,786,151	1,650,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和45年度								
	(2) 環境の変化		近隣トラブルや相続に関する相談の比率が増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症に関する相談・意見は減少した。								

